

城端曳山会館

城端曳山会館は曳山祭の歴史を専門とする資料館です。城端にあるこの資料館は、毎年5月4日、5日に行われる例祭についての情報を伝えており、例祭の行列に参加するさまざまな曳山や彫像のための展示室が設けられています。会館に併設されている、蔵回廊と呼ばれる改修された蔵では、城端曳山祭に関連する資料や器材が展示されています。

曳山祭の展示室では、装飾に富んだ曳山を間近で眺めることができます。曳山はガラスで区切られ、湿度管理のなされた大空間に収められており、数分ごとに照明が暗くなって、夜間の祭りの様子を体感できるようになっています。細部に目を凝らすと、それぞれの曳山を飾り立てている鮮やかな色彩や金を見ることができます。一部の曳山には、同じ南砺市内の近隣地域である井波の伝統的な木工芸、井波彫刻が施されています。竹笛や三味線（3本の弦を持つ伝統的和楽器）を演奏する奏者たちを乗せる庵屋台も展示されており、お茶屋（京都の祇園で、芸者がお客を楽しませた施設）などに使われる豪華な建築様式で設計されているので、近くでよく見てみる価値があります。